



"What's the worst that could happen?" Hailey Stutz

That's something one of my favorite teachers in high school said all the time. He advised that, if there is something you want to do but are unsure about, ask yourself, what is the worst that could come of my doing this? It's meant to make you consider that many risks are worth taking. Taking these words to heart, I became a braver person. We are increasingly pressured not to fail, even if that means not trying, and because of this, there are so many missed opportunities that we let pass us by. Even now, I am an evolving person, struggling day by day to be someone who takes the risks necessary to secure my own happiness. Of course, we must be realistic in our expectations of the best- and (※)worst-case scenarios, but perhaps from now on you will consciously ask yourself, "What's the worst that could happen?" and then let yourself try.

【ちょっと豆知識】 宮地晶子

(※)worst(ワースト)-case(ケース) scenario(シナリオ) = ニュースなどでもよく耳にします。「想像しうる最悪の事態(シナリオ)」という意味です。口にしてみてください。意味はともかく、なんか格好いい表現でしょう。worst(ワースト)は、「一番悪い」という意味。best(ベスト)の反対です。服の趣味の悪い人を選ぶ「ワーストドレッサー賞」という言葉がありますね。「交通事故ワーストワン」と使ったりもします。どちらも遠慮したい言葉ですね。

「最悪の場合、何が起きる？」 ヘイリー・ストゥッツ

高校時代に、好きだった先生が、いつもこう言っていました。「やりたいことがあるけど自信がないというときは、自分で自分に聞いてみなさい。実際にそれをやった場合の最悪の事態は？」それは「危険(リスク)の多くは冒す価値がある」と考えさせるための言葉でした。これを胸にわたしは、より勇敢な人間になりました。日々「失敗しないように」というプレッシャーを感じていると、ともすれば「挑戦すらしめない」ことになりがちです。結果ずいぶん多くのチャンスを逃しています。私はただいま発展途上の人間です。自分自身の幸せを手に入れるために、日々がんばって、リスクを取れる人間になろうとしています。もちろん、現実的になって、最高と最悪の場合を思い描いておくべきではあります。「これをやったとして、起こりうる最悪なことは何だろう？」これからは、意識して自問してみませんか、そしてチャレンジしてみましょう。

(訳:宮地晶子)

英語教育指導員 宮地晶子の

エイゴノマナビカタ

第123回

馬上、枕上、厠上

よい考えが浮かぶ場所を「馬上、枕上、厠上(ばじょう、ちんじょう、しじょう)」と言いますが、現代なら「車、ベッド、トイレの中」かな。これって暗記物にもあてはまります。

私は京都に帰るとよく私鉄電車に乗りますが、まあ車中で暗記している人の多いこと。ざっと見回しただけでも中国語、経済学、医学用語、英単語などなど。iPod(アイ・ポッド)やウォークマンを使う人も。やっぱり乗り物の中で暗記は、暗記の王道です。「東川一旭川」間の通学路線バスの中も古文や英単語を覚える学生が多いそう。先に座った子が

鞆を持ってあげたり、東川出身の先輩、後輩が助け合って、ちょっとした同窓会みたいで楽しそう(中にはカップヌードルを食べるけしからん奴もいるらしいけれど…)

英語検定へのアドバイスを求められることが多いですが、2級、準1級あたりになると、「単語を一気に頭に入れる」しかないと思います。その点乗り物は最高。通勤時間が極端に短い人はどうする？ 今度は枕上厠上の番です。私が一番勉強していたのは娘が生まれたころですが、カセットレコーダー用の練習テープを自作しました。

通訳をするためには、2秒以内に言葉が出ないといけないので、「日本語→英語」「英語→日本語」を2秒の間隔を開けて吹き込みました。当時、添い寝をしないと寝てくれない娘の横で、真っ暗闇の中で暗記しました。この時覚えた単語は本当に役に立っています。

車の運転をする人は、運転中にでも車中でCDを掛けて大声でリピートしましょう。短い音源を繰り返し聞くのがいいでしょう。また、今はオーディオブックという形でさまざまな本がCDで買えます。小説などを聞くのもお勧めです。